

2020年4月9日
西日本旅客鉄道株式会社

山陽本線 白市～西広島間で「D-TAS」を使用開始します

鉄道輸送の安全性、安定性を高めるため、2018年5月より山陽本線の西広島～岩国駅間において、新保安システムを「D-TAS (Database oriented Train Administration System: データベースを用いた列車管理システム)」を導入していますが、この度、白市～西広島駅間における使用開始が決まりましたので、お知らせします。

1. 導入箇所

山陽本線 白市～西広島 (46.3km)

2. 使用開始日

2020年4月26日(日) 始発列車から

※注釈：状況により使用開始日を変更することがあります。

3. D-TASの特徴

- ・車両に搭載したデータベースに、予め信号機の位置や曲線・分岐器などの位置と制限速度の情報を登録しています。
- ・列車は車輪の回転数で自列車位置を把握し、データベースに登録した設備に対し制限速度を超えた場合に、従来のATSと同様に自動的にブレーキを動作させます。
- ・データベースに様々な地上設備の情報を登録することで、運転支援機能を充実させています。

4. その他

D-TAS 使用開始済み線区：山陽本線 西広島～岩国 35.9km (2018年5月)

